記者発表資料

令 和 ２ 年 １ 月 ７ 日
岩木川ダム統合管理事務所

津軽ダム　日本ダムアワード２０１９　低水管理賞を受賞

～ ダム愛好家が最も印象に残ったダムとして投票で選出 ～

昨年の津軽地方での記録的な少雨の中で、関係機関と連携してかんがい用水等を補給した津軽ダムの利水補給の運用実績とその効果が認められ、日本ダムアワード２０１９で津軽ダムが低水管理賞を受賞しました。

日本ダムアワード２０１９は、昨年一年間の全国のダムの運用実績を振り返り、ダム愛好家有志による選考委員が様々な角度から活躍したダムをノミネートし、さらに、選考委員と観客（ダム愛好家）の皆さんによる投票で、各部門で最も印象に残った働きをしたダムを選出して、その功績を讃えようというイベントで昨年１２月２８日に東京都内で開催されました。

岩木川ダム統合管理事務所が管理する津軽ダム地点（平成２７年以前は目屋ダム地点）の降水量データ（令和元年５月～７月）を集計したところ、昨年は平成元年以降で最小規模相当の少雨の年でありました。こうした中で、津軽地方におけるかんがい期間中（5/1 ～ 9/5）において、河川状況の監視や関係機関との連携を図りながら、かんがい用水等の利水補給を行ったことが評価されたものとなっています。

なお、日本ダムアワードは２０１２年に創設されており、これまで青森県内においては２０１５年に目屋ダムが低水管理賞を受賞しています。目屋ダムの再開発事業である津軽ダムが今回受賞したことで全国初の「親子受賞」となりました。

「日本ダムアワード」公式ＨＰ　　http://japandamaward.org/

〈発表記者会：弘前記者会、黒石記者クラブ、専門紙各社〉

お　問　い　合　わ　せ　先

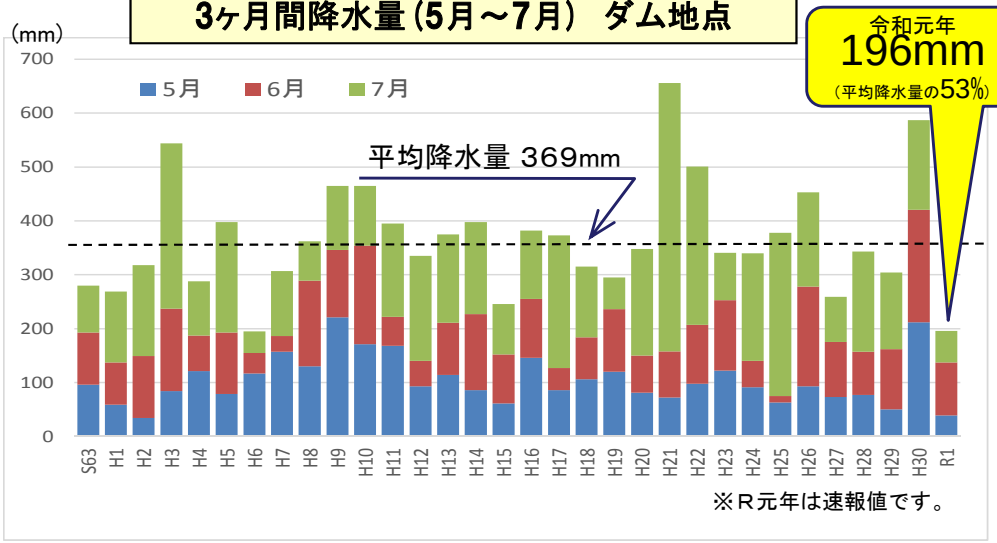
国土交通省　東北地方整備局　岩木川ダム統合管理事務所
（浅瀬石川ダム・津軽ダム）
中津軽郡西目屋村大字居森平字寒沢１３８－２
電話　０１７２－８５－３０３５
副所長（技術担当）　三浦（みうら）　義昭（よしあき）　（内線２０４）
管理課長　五十嵐（いがらし）　悟（さとる）　（内線３３１）

令和元年 津軽ダムの渇水対応　関係機関連携で渇水を乗り切る

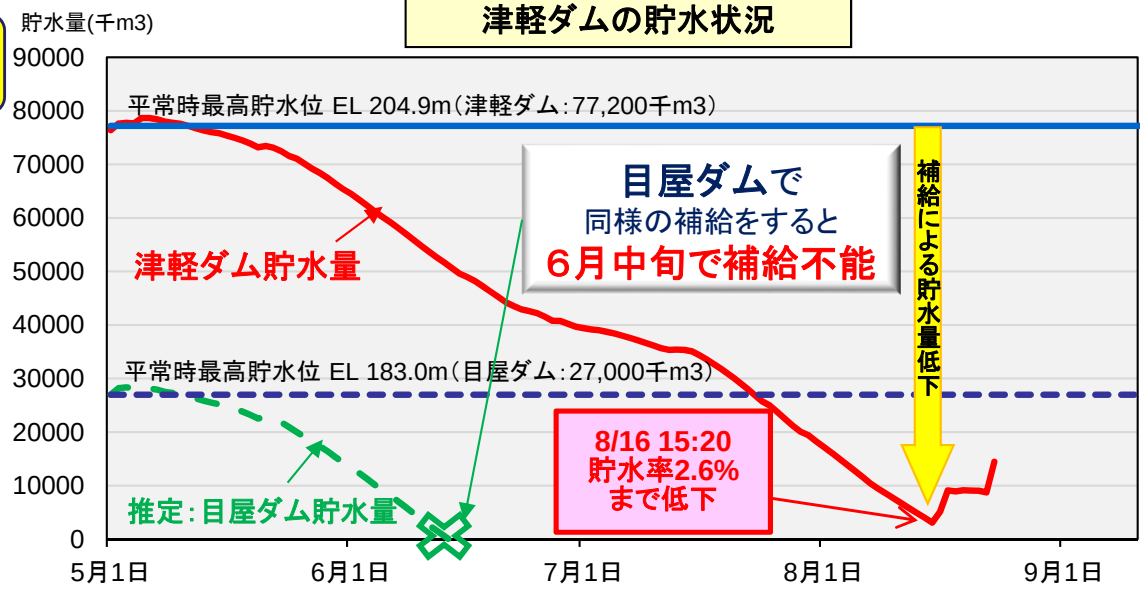
国土交通省

- 今年は津軽ダム流域において降水量が少ない傾向にあり、特に5月～7月の累積雨量は平年値に対して約53%程度と、管理開始(H29.4)以降で最小値を記録しました。
- 平成以降では、平成6年（195mm）に続く第2位（196mm）を記録し、ほぼ第1位と同量の小雨を記録しました。
- 小雨を受け、津軽ダムでは貯水率が2.6%まで低下したが、8月中旬に降雨があり貯水量の回復がみられました。

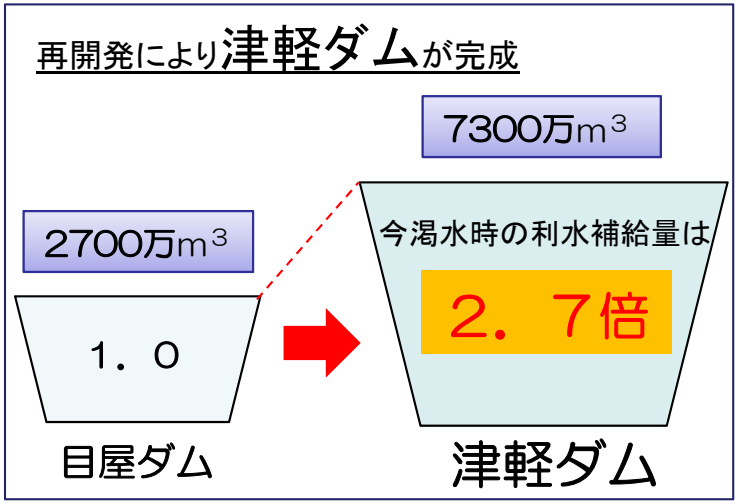
3ヶ月間降水量（5月～7月） ダム地点



津軽ダムの貯水状況



ダムの再開発事業（H28.10完成）





■管理移行後、一番低い貯水位を記録
（R元．8．16　8時30分撮影）



■津軽ダム貯水池の状況写真
（R元．8．13ドローンにて撮影）